

ぶんかざいまるちなび

# 文化財知ナビ

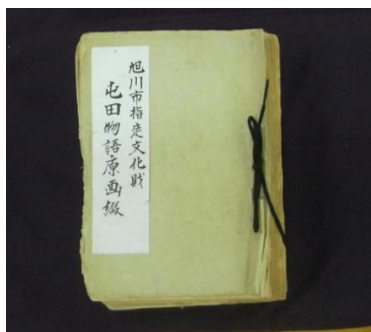
No. 27

このニュースレターは、「文化財に親しむ機会の提供に関する事業」の一つとして、身近な文化財情報をはじめ、文化財を活用した事業などの紹介を行っています。ぜひ学校教育や生涯学習の場で広くご活用ください。

- どうしていゆうけいぶんかざい 道指定有形文化財 「屯田兵絵物語附屯田絵巻」
- どうしていゆうけいぶんかざい 道指定有形文化財 「滝川屯田兵文書」
- どうしていゆうけいぶんかざい 道指定有形文化財 「新琴似村屯田兵村記録」

平成28年3月に新たに指定された3件の有形文化財を紹介いたします。

## 屯田兵絵物語附屯田絵巻



明治25年に屯田兵として大分県から東旭川下兵村（東旭川第三大隊第三中隊）に入植した廣澤徳治郎が、小樽上陸から旭川までの様子、入植地で原始林を拓き開墾する姿、農作業や養蚕の状況、屯田兵としての訓練、そして当時使用した農具、生活用品及び生息していた野鳥、獣類に至るまで、自らが目にし、体験したことを描いた資料であり、当地での生活や屯田を中心とした地域社会の様子等、屯田兵が当地に定着するまでの出来事が、当事者の視点から克明に記録された、北海道の開拓期を知る上で貴重な歴史資料です。

屯田兵絵物語は、絵図221枚と400字詰め原稿用紙188枚の説明原稿からなり、絵図は大正末期から昭和16年以前に描かれ、原稿執筆は昭和18年から19年と考えられています。

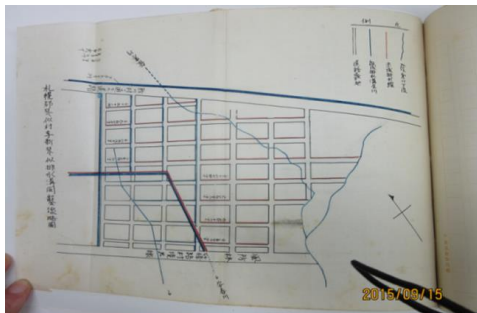
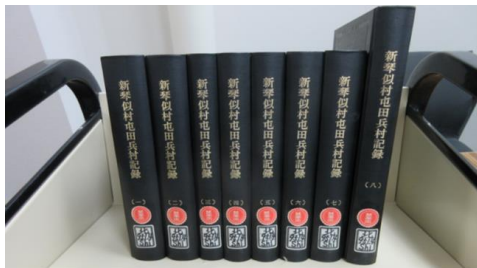
屯田絵巻は、作者が屯田兵絵物語の完成後に絵物語の絵図を拡大明瞭化した4つの束からなる絵巻を、昭和54年4月25日に、当時旭川兵村記念館職員が絵巻物として完成させたものです。1巻目は入植地である東旭川下兵村での生活の様子、2巻目は屯田兵の訓練及び入植地周辺に生息する動物等の自然環境、3巻目は住宅、兵装他官給品、生活及び農具等の物品、4巻目は森林伐採など開墾、田植え等の農作業の様子等が描かれています。

## 滝川屯田兵文書（第二大隊第三中隊・第四中隊文書）

滝川屯田兵第二大隊第三中隊、第四中隊の軍としての統括機能及び役所としての住民管理機能を備えた中隊本部の行政文書であり、月報、演習など軍事訓練に関するだけでなく、給与地の地図をはじめ、農業や戸籍、日常生活のことなど、兵村の暮らしを丸ごと探ることができる貴重な資料群です。終戦後、多くの中隊本部で関連文書を焼却廃棄したため、現存する資料はとても少なく、本資料は、その中でも唯一まとまった資料であり、特異な組織であった屯田兵と兵村における暮らしの実像、北海道における開拓の姿を知ることができる歴史的遺産として貴重な一括資料です。



## 新琴似村屯田兵村記録



新琴似兵村（現・札幌市新琴似地区）に屯田兵が入植した翌年の明治21年から昭和4年までの兵村自治組織の議事録、収支予算決算書、決議事項、生産物の販売台帳等を収録した歴史資料です。新琴似兵村会記録は、北海道における地方自治制度が未整備な時期に、「共助」の精神を基盤とした共同による生産事業や学校運営、治水・造田等の公共事業、相互扶助、善行の表彰といった自治活動を活発に展開した実像を伝える貴重な史料であり、住民の目線で見えた当時の地域の暮らしや産業の姿を記載した記録が多く含まれており、開拓期における北海道の経済、社会、文化等の様子を表した重要な歴史資料です。

文化財ニュースレター 文化財まる知ナビ No.27

発行 平成28年5月13日 編集・連絡先 北海道教育庁生涯学習推進局文化財・博物館課

【お問い合わせはこちらへ】 電話 011-231-4111（内線）35-621 メール kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp